



雲仙土石流被災家屋保存公園（道の駅ひまわり）

SH-60型航空機（漬物の里）



大野木場監視所・旧大野木場小学校被災校舎（愛称：大野木場砂防みらい館（国土交通省所管））

女性部会視察研修

六月二九日（月）

梅雨時期に計画した視察研修でしたが、この日だけは晴天でした。（皆さんの話では、私たちは日頃の行いがいいそうです）

鬼池港を午前七時十五分発のフェリーに乗り、長崎は島原雲仙へ。

漬物の里ふるさと館には、海上自衛隊の大村航空基地で使っていたヘリが展示。護衛艦に搭載され、国際貢献活動や離島からの急患輸送等で活躍していたそうです。

土石流被災家屋保存公園は、大型テント内に三棟、屋外に六棟被災した家屋を後世に伝える為、当時の状況のまま保存展示してあります。「この周辺は、土砂物の流れてくるスピードが緩やかだった為、倒壊はせず土砂物に埋もれた」とありました。

旧小学校は熱風で焼け落ち、ひしゃげた様々なものがあり、時代は止まったまま。噴火災害の凄まじさを物語っていました。

【数百度の熱風とともに時速100kmで流れ下ってくる火砕流。猛烈な勢いで生き物のように迫ってくる火砕流。当時、それへの理解が十分でなかったのも、被害が広がった一因といわれる。雲仙普賢岳の噴火活動は、平成二年十一月十七日〜平成七年五月まで四年半もの間続いた。】

被災地を見学後、雲仙地獄へ。昼食のやわらかい牛肉のビーフシチューを食べた後、硫黄の香りと蒸気が噴出する遊歩道を散策。お糸疑獄や映画『君の名は（昭和二九年）』のロケ地となった『真知子岩』も見ってきました。

温泉たまご販売所の隣では、東屋の中で地域猫がのんびりお昼寝中。温泉たまごを買った人にすり寄ってくる猫もいて、猫好きさんには楽しい場所でした。

小浜温泉の日本一長い足湯につかり、ほっと一息。景色も眺められるし、気持ち良かったです。EXILEのTAKAHIRO氏が制作した看板（複製）も見れました。

視察研修最後は、ケーキ屋さんで珈琲タイム。どれにしようか悩みながら注文し、併設されている二階のカフェへ。場所がどこでも賑やかな御一行様でした。ご参加の皆様、楽しい時間をありがとうございました。



宮田カヤック体験 開催 R8.7.19（日）9：30～



令和四年度から始まったカヤック体験は、今年で五回目の開催となります。（令和六年度は悪天候で中止）

宮田えびすビーチは、ブイで囲まれた安全なエリアで安心して体験ができます。また、ライフジャケットを着用しているので、ひっくり返っても自分で起き上がれます。『今年も彼が上手にひっくり返ってくれました！』

倉岳町の防災無線放送を聞かれた方や、山鹿・博多からの海水浴客の方も含め、二〇名の体験となりました。

初めはぎこちない乗り方ですが、いざ海へ出ると、どんどん前へ進み、自分の思い通りに方向転換もでき、皆さん上手に乗りこなしていました。二人乗りがないので、小さいお子さんが一緒に乗れないのは残念ですが・・・。

スイカ割りには、二歳児も自分より大きな棒を持ち、奮闘してくれました。今年のナビはわかりやすかったので、目隠しした参加者もスイカを割っていたようです。

「いつもは食べんけど」「何年分も食べた」という声の中、割ったスイカは全部美味しく食べました。

スタッフの皆さまには、暑い中、当日の運営と、準備・片付けまでご協力いただき、ありがとうございました。

宮田きもだめし大会 開催 R8.7.11(土)



きもだめし大会は、施設内を暗くしての開催のため、写真はありませんが、今年も大盛況でした。怖くて泣き出す子や、途中で引き返す子もいたそうです。

スタンプラリー形式の方法や、脅かし役の面をはぎ取ろうとしたりする場面が見受けられたので、来年は対策を考えたいと思います。

スタッフの皆さま、ありがとうございました。

～9 月のご案内～

宮田地区敬老会 9 月 27 日(日) 9：30 開催

★天草吹奏楽団演奏・倉小音楽部演奏、各区の演芸等を予定しています。

★当日、出席された敬老会対象の方には、紅白饅頭と赤飯を準備しています

★8 月 3 日頃、案内状を郵送いたしますので、期日までに出席連絡をお願いいたします。

～8 月のご案内～

宮田地区夏祭り 8 月 14 日(金)18:00 開催

★「浴衣・甚平を着て、ご来場された方には先着 20 名様に 1,000 円分の図書券をプレゼント」

★Rintaro（以前宮田西の原に居住）さんのエンターテインメントマジックも予定しています。お楽しみに!!